

品質の低下についての考え方(その2) (データ伝送役務(ベストエフォート・サービス))

総務省 総合通信基盤局
電気通信技術システム課

平成21年5月22日

データ伝送役務(ベストエフォート型のブロードバンドサービス)と「品質の低下」について

前回提案した各案に関する検討(例)

- 案1については、現行の運用(役務の停止)のとおり。
- 案2については、例えば次のような利点・課題が存在するのではないか。
 - 【利点】
 - ・ 実質的に役務の利用が困難な事象を「品質の低下」と定義可能。
 - 【課題】
 - ・ セッションが確率している状態を示す基準が各社(事業者、ベンダー等)で異なるのではないか。
- 案3及び案4については、例えば次のような課題が存在するのではないか。
 - ・ 利用者の体感値等を考慮しつつ、一定の伝送速度等で事故に該当する閾値を明確に決めることが出来るか。
 - ・ 伝送速度は、インターネット接続方法やISP等にも大きく依存するが、これらをどのように扱うのか。等
- 案5に記された、遅延、ゆらぎ、パケットロス等について、「品質の低下」を明確に定めるためには、一層の技術的検証が必要ではないか。